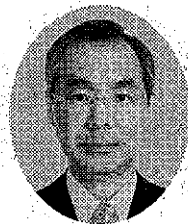


飛躍に備え体制充実

組織力発揮の推進力に



川神専務

大日本コンサルタンドの次期社長に内定している川神雅秀専務は、19日の決算説明会で、9月18日付で就任したあとの基本方針を明らかにした。現在は、「厳しい環境の

中で耐え忍ぶ体力勝負」を強いられているが、「再編・淘汰（とつた）の時期が過ぎれば飛躍できるように、社内体制の充実を図る」と述べた。

社長としての役割は、「社員の思いを一つにして、爆発的に組織力が発揮できるような、その推進力になる」と強調、精力的に行動する考えを示した。

2010年6月期の重点施策は、①信頼性の向上②競争力の強化③収益性の改善を挙げていく。信頼性向上については昨年11月、東京、大阪両支社に品質審査室を新設している。設計成果品のミス防止するため、業務の途中で段階的にチェックするなど、品質管理をさらに強化する。

競争力強化は、プロポーザルや総合評価落札方式への対応力をアップする。09年6月期の売上高に占めるプロポーザルの比率は約65%で、70%に引き上げる目標を立てている。

具体策としては、東京、中部、大阪の各技術者を、効率的に配置できるように体制を整える。

収益性の面では、橋梁の詳細設計を内製化しているが、用壁やカルバートなど道路構造物、共同溝など地下構造物、都市施設にも対象を拡大、外注費を削減してコスト低減を図る。